燃え上るゼネ禁反對運動

三鑛家族も大團結

反對署名と決議文　反動の根城に叩込む

政府与党のお偉方の御面々「公約」を盾なる「口約」に終らせないために衆院における絶対多数を頼んで、主食の統制を廃止さるそうな。自由党は「自由」がお好き。米を食うのも麦を食うのも、いや雑穀や粥を食うのも「自由」にしようというわけ。

なんでもそんなに「自由」をお好みになるのか？とてつもなく大勢の貧乏人に米を食わせるために、ゆたかでもない財政資金の中から、多くの統制のための官吏を養うのは「自立日本建設」のためによろしくない。そんなムダな金があったら、警察を増強し、予備隊を強化する方にまわすべきだ。――おなた方の腹の底は？――ではこっそり申し上げましょう。この間まだ労働者諸君は賃上げや何とか言ってさわぎ立てる。高い米を食わしているから金が足りなくなるんだよ。第一安い麦を食わせておけば賃金の要求ばそうべらぼうになるまい。第二に組合がさわぎ立てようるさくなると、オサヘつける（労働者を「不自由」にする）ために警察や予備隊が必要なんだ。こうして主食統制廃止は一石二鳥というもの。わかったか？

おなた――それでは労働者はかわいそうじゃありませんか？労働者は給与高騰ばかり食うことになって。なぜに（池田

稿寄特別

米麥談義

丸大助教授　奥田八二

労働者諸君!!麦を食うて一等国人になりますか？職相が新しい人でないことを立証するために、一つの目判新聞は統制廃止反対論が盛勢な今日の世論の事実をおしまげて「警官は相半ば」と頑張りつけ加えて言う――(1)中国の吉の選人顧問は「粗食を食い水を飲んで」楽しんだ (2)満洲国某論理が、来朝して個別走攻めにあって「どうかアワのカユを食べさせてくれ」と側近者に頼んだ。(3)金持でもトロロ汁は麦飯に限る (4)ライスカレーは外米が本当の味を出す。(5)麦は重宝で、ウドンにより、パンにより、田舎ブバの味また捨て難し。等々。賃金労働者諸君安心し給え。麦飯のライスン者、味方続々現わる。――労働者の一主婦感心してしばらく考えたあげく「そのような人々と同じ身分になりたいわだって右の中には賃金労働者なんて一人もいないんだもの――」

婦人代議士奥田八二女史は